

令和4年11月5日 オンラインセミナー議員研修参加

## 報告書

令和4年11月10日

講師：江藤俊昭（地方議会総合研究所）

### ・定数の考え方

ただ、人口減のみで減らすだけだと意味がない。資質の向上や地域の問題  
委員会構成 等の議論必要。地域の衰退にも成りかねない。  
各地域で今後の大事な課題でもある。

場合によっては安価な報酬でのサラリーマンでの夜間議会、等もありうる  
か？

### ・政務活動費

地域によって違いはあるが、皆さんが納得し説明つくように。大事である。  
各自、自分であるのがだいじでは・・・ との意見

### ・コロナ禍での議会

オンライン議会のあり方も・・・

## 感想

今から下関市も定数削減の議論になるが、地域の衰退 委員会構成人数 等も  
含め、コロナ終息後の議員が率先した地域活性化活動は大事であるとの認識。  
今は、定数減は時期尚早だとも感じる。

報告者：安岡克昌

議員・職員のための

アフターコロナにおける

# 地方議会のあり方



11月5日 (金) in 東京



講師: **江藤俊昭** 【大正大学教授】

昭和31年東京都生まれ。昭和61年中央大学大学院法学研究科博士後期課程満期退学。政治学博士。専攻は地域政治論。三重県議会議会改革諮問会議長、鳥取県智頭町行財政改革審議会会長、第29次・第30次地方制度調査会委員等を歴任。山梨学院大学、同大学院教授を経て現職。現在、マニフェスト大賞審査委員、議会サポーター・アドバイザー（栗山町、芽室町、滝沢市、山陽小野田市）、など。主な著書に、「自治体議会の政策サイクル」「Q&A 地方議会改革の最前線」、「自治体議会学」等多数。現在「議員NAVI」「ガバナンス」連載中。

同時開催！  
オンラインセミナー

10:00～13:00.....

**議会力をアップさせる**

**議員報酬・定数・政務活動費**

1. 議員報酬・定数・政務活動費の基本原則
2. 議員報酬の考え方(過去・現在・未来):原価方式とは
3. 定数の考え方(過去・現在・未来):人口から討議の重視
4. 政務活動費の考え方(過去・現在・未来):活動指標と成果指標
5. 議論し実現するプロセス:住民を巻き込む議論を
8. 【悩み相談コーナー】

14:00～17:00.....

**コロナ禍を踏まえた地方議会のあり方**

1. 二極化した議会(質問・質疑・専決処分への対応)
2. 危機状況の議会運営(議会BCP, 不要不急ではない活動)
3. 議会運営における質疑・質問の位置
4. 議会改革の本史
5. 議会からの政策サイクルにおける質疑・質問の位置(質疑・質問を議会のものに)
6. よい質疑・質問をつくるために(支援・ネットワーク)
7. 広報における質疑・質問
8. 【悩み相談コーナー】

(株)地方議会総合研究所